

拜啓 向春の候、エル・エス会の皆様におかれましてはご健勝でご活躍の事と存じ上げております。平素には格段のご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、第六波となるオミクロン株が猛威を振るい感染者数を増やしている中、私の元にも職場や学校に、知人にと感染者が出たとの一報が入って来ております。また「感染予防に！」との念導入の依頼が増えて来ています。であります。その中で吉報となる最近の体験をご紹介致します。お嬢さんの職場で陽性者が出て感染予防の念導入のご依頼を受けまして送念をさせて頂きました。後日PCR検査の結果お嬢さんの職場の同僚も自分自身も陰性だったと安堵されて報告を受けました。まさに奇跡体験でした。この力には本当に助けられているとの喜びの声を頂いております。皆様もお出かけ前には「感染予防に！」と送念をされましてお出かけ頂きまして、またご家族に縁ある方々にも感染予防の送念を試みて頂きたいと思っております。ウイルスは口から入り喉に定着すると言いますので、喉に心身シールを貼られることをお勧めいたします。また災いは鳩尾の裏(背中)から入ってきますのでそこにもシールを貼られますようお願い致します。安心感は心の栄養ともなる感情であります。安心・安全をあなた自身の心我の力で確立していく事が出来るということは、この上ない幸せな事であると私は確信しているところであります。何者かに救われるのではなく、人は自分自身の生まれ持った心の力(幸せに成る力)が備わっているということを、私どもライフステップではこれからも多くの方々にお伝えしていく所存であります。眼に見えない心の力をお伝えすることは、とても長い時間と信頼関係が必要となることでもあります。また、それまでの奇跡体験を踏まえて入会頂いている会員様でも、何か？ 難事が起きた時にはそれまでの奇跡体験もどこかに消えて忘れて

しまうものであります。人は目の前の難事に心を奪われ動揺していくものがあります。このような時にこそ私達コーディネーターが寄り添い親身になってその諸問題を解決していく事がこの力に縁づいた使命だと心得ているところでもあります。話は変わりますが、令和に入り難事続きの三年間でありましたが、それも今年で終り、新たな時代の幕開けが始まろうとしていると閃いているところでもあります。令和の名の由来を思い出してみますと、日本最古の万葉集(大宰府)に収められている「梅花の歌」で…、春の訪れを告げる梅の花のように、明日への希望と共に、一人ひとりが大きく花を咲かせられる日本であることを願い出典されたと聞き及んでいます。その名の如くこれまでの三年間は世界中を恐怖に陥れた新型コロナウイルスでありましたが、それも世界中の人の心が国境を越え一つとなり、新型コロナウイルス撃退へ向けて情報のやり取りなど、手を取り合って協力をし合い邁進してきた三年間でもありました。生みの苦しみとは言いませんが、いつの時代でも…？何事の始まりでもある黎明時期には、バランスが崩れ動乱が起きて新たな時代がやって来るものであります。このような苦しみ努力してきた体験が無駄にならない時代へととなっていく事と私は確信しているところでもあります。これから皆様のお安全と安心を確立していく為に励んでいく所存であります。最後になりましたがくれぐれも怯えることなくまた油断することなくバランスが取れた穏やかな日々をお過ごし頂きますようお願い申し上げます。今月のインスピレーション！

「内を知るには、外を観る！」

敬具

令和四年二月吉日

ライフステップ会長

山下 昌弘